

完了
要
回

昭和 13 年 文 第 771 號

接受 昭和 年 月 日
起案 昭和 13 年 月 28 日

接受ヨリ
起案マテ
ノ日數

日
決判 昭和十三年八月二日
施昭和拾参年八月参日

農 林 省

簿紙別添用紙

次

官
官

文書課長



電力管理法施行令及日本發送電
株式會社法施行令、件

首題、件ニ関シ通信次官ヨリ別紙、通回答越
相成候條

供
覽

尚農務、山林、水產各局長宛左案施行相成可

然哉

案

月 日

文書課長

農務、山林、水産各局長宛

件名

首題ノ件ニ関シ、逓信次官ヨリ別紙ノ通、回答越有
之候條此段及通知候也

(施行注意) 一、逓信次官ヨリノ回答又(素方一ニテ一節)及逓信

次官宛照会文書(一三文七七一)添付ノコト

業第一二六一號

昭和十三年七月廿八日

遞信次官 小野

農林次官 井野 碩 哉 殿



電力管理法施行令及日本發送電株式會社法施行令ノ件
七月十九日附一三文第七七一號ヲ以テ御來照ニ係ル首題ノ件ニ付テハ
充分配意ノ上善處可致候
尙電力管理ノ運行ニ當リテハ今後共格別ノ御支援相煩度此段申進候

遞信省

裏面白紙

接受
昭和 年 月 日
昭和三十二年七月十三日
起案
マ
日
數

日
決
昭和十三年七月十九日決
昭和十三年七月十九日決
昭和十三年七月十九日決

農
林
省

準紙同職用紙

文書課長
農務局長
山林局長
水産局長
漁政課長

次
官

電力管理法施行令及日本發送電株式會社法
施行令、件

案

年月日

農林次官

逓信次官宛

件名

七五

首題、件ニ関シ昭和十三年六月八日付照會有之候處
電力管理法第三條第一項、決定又ハ電力管理法第四
條第一項若ハ日本發送電株式會社法第二十四條第一項
、命令ハ其、計畫内容又ハ命令セントスル事項が農林
省所管事項ニ關係ヲ有スル場合ニ於テハ豫メ農林省ト
打合、上其ノ諒解、下ニ之ヲ為スコトト運用方確定致
置度候條御異存無之候哉此段及照會候也

秘

特使

有添付物

業第一〇三二號

昭和十三年六月八日

遞信次官

農林次官殿



電力管理法施行令及日本發送電株式會社法施行令ノ件

右別冊ノ通制定致度ニ付御意見有之候ハバ至急何分ノ御回報相煩度
追而本案ハ不日閣議稟請ノ運ト可相成モト被存ニ付御意見ハ直
接法制局ニ御申出相成モ支障無之爲念申添候

遞信省

裏面白紙

273



日本發送電株式會社法施行令案

遞
信
省
電
氣
局

日本發送電株式會社法施行令

第一條 日本發送電株式會社法第十五條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ買入ノ請求ヲ爲サントスル者ハ其ノ株式ノ數及各株券ノ番號ヲ記載シタル請求書並ニ株券ヲ日本發送電株式會社ニ提出スベシ
前項ノ場合ニ於テ株式ノ買入代價ノ支拂ニ付日本發送電株式會社法第十五條第三項ノ規定ニ依ル社債券ノ交付ヲ希望スルトキハ其ノ旨ヲ請求書ニ記載スベシ



裏面白紙

276

第二條 日本發送電株式會社日本發送電株式會社法第十五條第三項ノ
規定ニ依ル社債券ヲ發行セントスルトキハ左記事項ヲ具シ大藏大臣
及逓信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

一 社債券ヲ交付セントスル理由

二 社債ノ總額及各社債ノ金額

三 社債ノ利率

四 社債償還ノ方法及期限

五 利息支拂ノ方法及期限

第三條 日本發送電報株式會社第一條ノ請求ヲ受ケタルトキハ株式ノ買
入代價ノ支拂ノ方法、期日及場所ヲ定メ之ヲ請求者ニ通知スベシ
株式ノ買入代價ハ株式買入ノ請求アリタル日ヨリ六月内ニ請求者ニ
對シ其ノ支拂ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 日本發送電株式會社法第十五條第三項ニ規定シタル社債券ノ
時價ハ當該社債券發行ノ認可ノ日前六月間ニ於ケル政府ノ支拂保證
アル日本發送電株式會社ノ社債券ノ平均相場ヲ標準トシ、六月間ノ
平均相場ナキトキハ日本發送電株式會社ノ社債券又ハ之ト類似ノ他
ノ社債券ノ相場其ノ他ヲ參酌シ大藏大臣及逓信大臣之ヲ定ム

第五條 日本發送電株式會社法第十五條第三項ノ規定ニ依リ交付スル
社債券ニ關シテハ商法第百九十九條、第二百條ノ二及第二百三條ノ
規定ヲ適用セ_ズ

商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ前項ノ社債券發行ノ日ヨリ之ヲ
起算シ其ノ登記スベキ事項ハ同條第一項第一號ニ掲ゲタル事項トス
第一項ノ社債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ
當該社債券ノ交付總額ヲ證スル書面ヲ添付_附スルコトヲ要ス

第六條

左ニ掲グル場合ニ於テハ逕信大臣ハ内務大臣ニ協議スベシ

一 日本發送電株式會社法第四條ノ規定ニ依リ公共團體ノ有スル電力設備及其ノ附屬設備ヲ出資セシメントスルトキ

二 公共團體ノ有スル電力設備及其ノ附屬設備ノ價格ニ關シ日本發送電株式會社法第九條ノ規定ニ依ル決定又ハ同法第十四條ノ規定ニ依ル裁定若ハ認可ヲ爲サントスルトキ

三 日本發送電株式會社法第二十四條ノ規定ニ依ル電力設備及其ノ附屬設備ノ建設又ハ變更ノ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令ガ河川、湖、沼其ノ他公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面ノ使用ニ關係ヲ有スルモノナルトキ

第七條 遞信大臣日本發送電株式會社法第二十四條第一項ノ規定ニ依
ル電力設備及其ノ附屬設備ノ建設又ハ變更ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テ
ハ同時ニ同條第二項ノ處分ヲ爲スベキ行政官廳ニ其ノ旨ヲ通知スベ
シ

附則

本令ハ日本發送電株式會社法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



電力管理法施行令案

逕信省電氣局

第二條 左ニ掲グル電力設備ニ依ル發電及送電ハ電力管理法第一條但

書ノ規定ニ依リ政府ノ管理ニ屬セザル自己ノ専用ニ供シ又ハ一地方
ノ需用ニ供スルモノトス

一 最大電壓四萬ヴォルト以上ノ送電線路ヲ主體トスル電力系統ニ
屬セザルモノ

二 前號ノ電力系統ト運轉上密接ナル關係ヲ有セザルモノ

第二條 電力管理法第二條ノ規定ニ依リ日本發送電株式會社ヲシテ行ハシムル發電及送電ノ用ニ供スル電力設備ハ左ノ各號ニ該當スルモノトス但シ電氣事業法第三十條ノ規定ニ依ル施設及特別ノ事由ニ因リ遞信大臣其ノ必要ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 送電設備

(一) 最大電壓十萬ヴォルト以上ノモノ

(二) 最大電壓五萬ヴォルト以上十萬ヴォルト未滿ノ送電設備ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(イ) 水力發電所ヨリ主要需用地ニ至ル送電幹線ニシテ他ノ送電系統ト連絡シ綜合運轉ヲ爲スヲ適當トスルモノ

(ロ) 送電端又ハ受電端ニ於テ主トシテ他ノ電氣事業者トノ間ニ電

力受給ノ關係ヲ有スルモノ

(ハ) 並行線ノ關係ニ在ル送電設備ニシテ綜合運轉ニ依リ電力潮流ノ改善ヲ爲シ得ルモノ

(ニ) 若ハ(一)ノ送電設備ノ相互間、(イ)若ハ(二)ノ送電設備ト第三號ノ火力發電設備ノ相互間又ハ第三號ノ火力發電設備相互間ヲ連絡スルモノ

二 變電設備

(一) 前號(一)ノ送電設備ニ接続スルモノ

(二) 前號(二)ノ送電設備ニ接続スル變電設備ニシテ主トシテ他ノ電氣事業者トノ間ニ於ケル電力受給ノ爲必要ナルモノ

(三) 第一號(三)ノ送電設備ニ接続スル變電設備ニシテ送電連絡ノ用ニ

供スルモノ

三 火力發電設備

出力一萬キロワットヲ超過スルモノ

四 水力發電設備

出力五千キロワットヲ超過スルモノ但シ本令施行ノ際現ニ存ス
ルモノ又ハ工事中ノモノヲ除ク

五 前各號ニ掲グル以外ノ電力設備ニシテ逡信大臣管理上ノ必要ニ
依リ特ニ指定シタルモノ

第三條 左ノ場合ニ於テハ遞信大臣ハ内務大臣ニ協議スベシ

- 一 電力管理法第三條第一項ノ規定ニ依リ電力設備ノ建設又ハ變更ノ計畫ヲ決定スル場合ニ於テ其ノ計畫ガ河川、湖、沼其ノ他公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面ノ使用ニ關係ヲ有スルモノナルトキ
- 二 電力管理法第四條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ事項ガ河川、湖、沼其ノ他公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面ノ使用ノ許可條件ノ變更ヲ必要トスルモノナルトキ

附則

本令中第二條ノ規定ハ日本發送電株式會社法第四條ノ規定ノ施行ニ關
係アル範圍内ニ於テ昭和 年 月 日ヨリ、其ノ他ハ電力管理
法ノ全部ガ施行セラルルニ至ル日ヨリ之ヲ施行ス

電力関係法案

電力関係法案

電力政策要綱

一、管理ノ範圍

(1) 國家的統制ニ必要ナル左ノ設備ニ依ル發電及送電ハ政府之ヲ管理ス

(2) 主要新規水力發電設備

發電水力資源ノ合理的利用上避クベカラザル既設水力發電設備ヲ
含ム

(3) 主要火力發電設備

(4) 主要送電設備

(5) 前項ノ範圍ニ屬スル設備ハ新ニ設立スル特殊會社ニ於テ之ヲ施設シ、
既存ノ設備ハ之ヲ特殊會社ニ出資セシムルモノトス
前掲ノ送電設備ニ連絡スル既設水力發電設備ニ依ル發生電力ハ之ヲ

買入ルルモノトス、但シ場合ニ依リ其ノ託送ヲ認ムルコトアルベキ
モノトス

出資設備ノ評價並ニ買入電力料金ニ付テハ其ノ算定基準ヲ定メ、委
員會ノ議ヲ經テ之ヲ決定スルモノトス、但シ政府ハ出資設備ヲ擔保
トスル債權ニ付債權者ノ權利ヲ害セザル公正妥當ニシテ且必要ナル
措置ヲ爲スモノトス

二、管理ノ方法

(1) 政府ハ電氣應ヲ設ケ、電力ノ需給、發電及送電設備ノ建設計畫、電
力料金等重要ナル事項ノ決定及電力ノ配給ニ關スル指令ヲ爲サシム
ルモノトス

(2) 設備ノ建設並ニ業務ノ運営ハ特殊會社ヲシテ前項電氣應ノ決定ニ從

ヒ之ヲ爲サシムルモノトス

(イ) 政府ハ電力管理ノ適正ヲ期スル爲、官民ノ衆智ヲ集メタル電力審議會ヲ設ケ重要事項ヲ之ニ諮問スルモノトス

三、特殊會社

(イ) 資金調達ニ關シ利便ヲ圖ルト共ニ利益配當ニ對スル政府ノ保證、租稅ノ減免其ノ他業務遂行上必要ナル特權ヲ附與スルモノトス

(ロ) 會社ノ役員ハ政府之ヲ任命シ、定款ノ設定變更、社債ノ募集、利益金ノ處分其ノ他重要事項ハ政府ノ認可ヲ受ケシメ、會社ノ業務ニ關シテハ監督上必要ナル命令ヲ爲スモノトス

四、配電事業

(イ) 發送電ノ國家管理ニ照應シ、配電事業統制ノ擴充強化ヲ圖ル爲區域ノ整理統合ヲ爲シ、供給業態ノ改善、電氣利用ノ普及ヲ促進スルモノトス

(ロ) 國家管理ニ依ル料金政策ト相俟チテ料金ノ低廉且均衡ヲ得ル様其ノ監督ヲ擴充スルモノトス

五、電力動員

(イ) 平時ニ於テ相當ノ餘裕電力ヲ用意セシムルト共ニ、豫備設備ヲ整備シ、自家用發電ニ付テモ相當程度ノ連絡統制ヲ爲スモノトス

(ロ) 電力供給ヲ確保シ、電力ノ急需ヲ充ス爲必要ニ應ジ消費管制ヲモ爲スモノトス

六、其ノ他

(イ) 政府ハ農山漁村、家庭ノ電化ヲ容易ナラシムル様特別ノ配意ヲ爲スモ

モノトス

(四) 政府ハ水力資源ノ開發利用ヲ全カラシメ、他種利水、治水其ノ他ノ
權益トノ關係ヲ合理的ニ調整スルモノトス

(ハ) 國有ノ電力設備ハ之ヲ特殊會社ニ出資シ、國家管理ノ範圍ニ移スモ
ノトス

(ニ) 政府ノ管理組織中ニハ相當程度實地經驗ヲ有スル有能者ヲ參加セシ
ムルモノトス

電力國家管理制度新舊比較

舊

新

一、發電及送電ハ政府之ヲ行ヒ日本電力設備株式會社ヲシテ政府ノ發電及送電ニ必要ナル物的設備ヲ提供セシム

二、既存水力發電設備モ原則トシテ設備會社ニ出資セシム

三、送電設備中設備會社ニ出資セ

既存水力發電ヲ除ク發電及主要送電ハ日本發送電株式會社政府ノ管理ノ下ニ之ヲ行ヒ既存水力發電ハ原則トシテ發送電會社ニ出資セシメズ既存會社ニ於テ之ヲ行ヒ發送電會社ハ其ノ電力ヲ買上ゲ之ヲ送電ス

送電設備中發送電會社ニ出資セシムル

シムルハ概ネ電壓五萬ヴォルト以上ノ送電線及其ノ附屬設備トス

ハ概ネ電壓十萬ヴォルト以上ノ送電線及其ノ附屬設備トス（之ニ連絡スル既設水力發電設備ニ依ル發生電力ハ之ヲ買入ルルモノトス）

四、發送電ハ政府之ヲ行ヒ從ツテ

發送電ハ發送電會社之ヲ行フ結果發送

發電水利ノ使用ハ政府之ヲ爲ス結果設備會社ニ既設水力發電が出資セラルル場合ハ出資ノ目的タル電力設備及其ノ附屬設備ニ關スル河川、湖又ハ沼ノ水ノ使用ノ許可ハ其ノ効力ヲ失ヒ別ニ

電會社ニ既設水力發電が出資セラルル場合ハ出資ノ目的タル電力設備及其ノ附屬設備ニ關スル河川、湖又ハ沼ノ使用ニ關スル權利義務並ニ道路其ノ他土地ノ占用又ハ使用ニ關スル權利義務ハ總テ發送電會社之ヲ承繼シ從ツテ河川、湖

政府ニ於テ水ノ使用ニ付事實上
河川官廳ノ承認ヲ受クルコトト
シ設備會社ハ單ニ出資ノ目的タ
ル電力設備及其ノ附屬設備ニ付
河川、湖若ハ沼ノ敷地ニ於ケル
工作物ノ新策、改築若ハ除却又
ハ其ノ敷地ノ占用ニ關スル權利
義務竝ニ道路其ノ他土地ノ占用
又ハ使用ニ關スル權利義務ヲ承
繼ス

又ハ沼ノ水ノ使用ニ關スルモノモ亦當
然發送電會社之ヲ承繼ス

五 新ニ水力發電ヲ行フ場合ニ於
テハ政府ハ水ノ使用ニ付河川官
廳ノ事實上ノ承認ヲ受ケ設備會
社ハ物的設備ニ關スル範圍ニ於
テ河川官廳ノ許可ヲ受ク

新ニ水力發電ヲ行フ場合ニ於テハ發送
電會社ハ河川官廳ノ許可ヲ受ク

六 政府ガ發電及送電ヲ自ラ行フ
結果其ノ意圖スル電力政策ヲ直
チニ實行スルコトヲ得

發送電會社ノ事業ニ關シテハ電力設備
ノ建設變更ノ計畫及電力料金其ノ他ノ
電力受給ニ關スル重要事項ハ政府自ラ

之ヲ決定シ曾社ヲシテ行ハシメ既設水
力發電ノ事業ニ關シテハ發電又ハ送電
ノ方法ニ關シ政府ニ於テ管理上必要ナ
ル命令ヲ爲ス



電力國策關係法案ニ關スル經過

今期議會ニ提案見込ノ電力國策關係法案ニ關シテハ藝ニ閣議決定有リタル電力國策要綱送付越アリ又一月十日附ヲ以テ遞信次官ヨリ農林次官ニ對シ法案送付越ノ上何分ノ意見同示方照會有リタルガ之ニ關シ關係局タル農務、山林、水產、更生部ノ部局ノ意見ハ別紙一ニ取纏メタル通ナリ。而シテ一月十一日遞信省電氣局大野書記官ノ來省ヲ求メ各局參集ノ上説明ヲ徴シタル處

一、產業組合等ノ自己發電ハ電力普及セザル結果不得已自然發生セルモノニシテ此ノ種ノモノハ今後ト雖モ發生ヲ豫想セラレ、之ヲ抑制スルガ如キ意思ヲ有セズ但シ同一河川ノ統一的開發上必要アルトキハ混在スル此種ノ發電設備ヲ國家管理スルコトアルベキモ、其ノ際ハ關係官廳

ニ充分連絡スベキ旨

二、發送電ノ豫定計畫、電力料金其ノ他發送電ノ管理ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問機關トシテ電力審議會ヲ設ケ其ノ構成ニハ農林省側ノ申出ノ趣旨ヲ充分考慮スベキ旨

三、農林省側トシテ最モ關心ヲ有スル既設水力發電ガ日本發送電株式會社ニ出資セラレタル場合ノ河川湖沼ノ水ノ使用竝ニ工作物、其ノ他ノ電力設備ノ設置ニ關スル義務ノ承繼ニ關シテハ後述ノ如ク其ノ範圍ハ許可ノ條件タル義務ノミナラズ直接間聯ヲ有スル契約上ノ義務ヲモ包含スルコトニ兩省ノ意見一致セルモ之ニ關スル規定タル日本發送電株式會社法第十六條ノ實際ノ運用竝ニ其ノ規定ニ依リ當然承繼セラレザル權利義務ニ付テハ事實問題ニ付充分連絡スベキ旨

四、日本發送電株式會社法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ政府ハ同會社ニ電力設備及附屬設備ノ建設又ハ變更ヲ命ジ得ベク同條第二項ノ規定ニ依リ上述ノ命令アリタルトキハ河川湖沼ノ使用ノ許可、電力設備ノ施設ニ關スル許可、認可ハ關係官廳ニ於テ之ガ取消變更ヲ爲シ得ルモ同條第二項ノ規定ニ依ル許可、認可ノ取消變更ノ内容ニ關シテハ同條第一項ノ命令ヲ爲スニ當リ農林省ニ充分連絡スベキ旨

五、農山漁村ニ於ケル電力供給ノ潤澤及電力料金ノ低下ハ本法立法ノ根本趣旨ノ一ナル旨

ナルヲ以テ農林省側意嚮ハ大體貫徹セラレタルモノト認ムル次第ナリ
尙第七十議會ニ提出セル電力國家管理法案ニ於テハ既設水力發電モ日本電力設備株式會社ニ出資セラルルノミナラズ水ノ使用ハ政府之ヲ爲シ日

本電力設備株式會社ハ物的設備ヲ供スルニ止マリ從ツテ既設水力發電ノ出資ニ因リ從來ノ水ノ使用ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フコトナリ居タルヲ以テ別紙ノ通兩省次官ニ於テ公文ヲ交換スルコトニ諒解アリタルガ今議會提出ノ法案ニ於テハ既設水力發電ハ原則トシテ出資ノ目的ヨリ除外セラレ又水ノ使用ニツイテハ日本發送電株式會社ニ於テ之ガ許可ヲ受クルコトト爲リ居リ義ノ交換文案一ノ前半ノ問題ハ解消シーノ後半及ニ付テハ遞信省側モ現在全ク同意見ノ由ナルヲ以テ之ニ關シ今回ニ於テモ兩省次官ニ於テ別紙ノ通公文ヲ交換スルコトニ諒解成立シタリ。
(農林次官ヨリ遞信次官宛照會ハ一月十七日施行済)

電力管理法案及大日本振興電力株式會社法案ニ對ス
ル各局部意見及希望 (一三、一、一三)

第一 電力管理法案ニ關スル事項

一、左ノ場合ニ於テハ事前ニ農林省ニ協議セラルルコト(農務局)

(一) 農業者及肥料製造業者等ノ發電及送電ヲ管理セントスル場合(第一條關係)

(二) 大日本振興電力株式會社ノ爲ス水力發電設備ノ建設又ハ變更ノ計畫ニ付決定スル場合(第三條關係)

(三) 第四條ニ依リ水力發電ニ關スル指令ヲ爲ス場合及農業者並肥料製造業者等ニ對シ其ノ發電又ハ送電ノ方法ニ關シ指令ヲ爲ス場合(第四條關係)

二、電力管理ニ關聯シ一般的ニ農山漁村ニ影響ヲ及ボス事項ノ決定ニ付テハ農林省ト協議セラレタキコト(更生部)

三、國有林事業ノ用ニ供スル電氣ノ發電及送電ハ之ヲ管理セザルモノトハルコト(第一條關係)(山林局)

四、農山漁村又ハ産業組合等農村團體ガ經濟更生計畫トシテ村單位又ハ數ヶ村ブロック單位ニ行ヒツツアル發電及送電竝將來行ハントスルモノニ付テモ之ヲ國家管理外トセラレタキコト(第一條關係)(更生部)

五、電力審議會ノ委員ニ農林省及農業利益代表者ヲ加フルコト(第五條關係)(農務局)(山林局)(更生部)

第二 大日本振興電力株式會社法案ニ關スル事項

一、電力評價審査委員會ニ於テ農業者及肥料製造業者等ノ出資設備ノ價格ニ付審議スル場合ハ農林省及當該設備所有代表者ヲ参加セシムルコト（第十條關係）（農務局）

二、從來電氣事業者等ガ有シタル水利權、河川湖沼ノ工作物其ノ他ノ電力設備及其ノ附屬設備ヲ大日本振興電力株式會社ガ取得スル場合從來ノ電氣事業者等ガ負擔セル第十六條ノ規定ニ該當セザル農業關係ノ除害設備ノ設置、地元農村等ニ對スル寄附其ノ他ノ義務ヲ承繼セシメ、尙同會社ガ新ニ發電及送電設備ヲ爲ス場合地元農村等ニ對シ相當ノ損失補償其ノ他ヲ爲サシムルコトニ付考慮スルコト（農務局）

三、發電所所在府縣所在農山漁村ノ財政並關係農山漁家ニ於テ從來電力會社ヨリ徵收シタル收入ニ付テハ將來ヲ考慮セラレタキコト（第十六條關係）（更生部）

四、大日本振興電力株式會社ノ送電設備ニ容易ニ接續セシメ得ル場合ニ於テハ同會社ヲシテ農業者及肥料製造業者等ノ餘剩電力ヲ購入セシメ、尙新業者ニ對シ直接大口電力ノ供給ヲ爲サシムルコト（第二十二條及第二十七條關係）（農務局）

五、大日本振興電力株式會社ニ對シテ第二十三條第一項ニ依リ水力發電ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ農林省ニ協議セラレ、尙斯命令及電力管理法第三條ニ規定ノ水力發電ニ關スル計畫ノ實施ニ際シテハ同會社ヲシテ農林省ニ稟伺セシメラルコト（第二十三條關係）（農務局）

六、第二十三條第二項ノ處分ヲ爲ス場合ニハ關係官廳ニ協議ヲ爲スコトヲ

要スルモノトナスコト（第二十三條關係）（山林局）

第三 兩法案ニ關スル事項

一、農村、特ニ農業ニ於ケル電氣利用ノ普及改善（電力國策要綱六(4)参照
ニ關シテハ農林省ニ於ケル之ニ關スル方針ニ則應シ、之ガ遂行ヲ容易ナ
ラシムルヤウ電氣ノ供給、供給條件ノ緩和等ニ付考究セラルルコト（農
務局）

二、國家管理ニ依ル電力料金政策ノ樹立及實行ニ付テハ特ニ農山漁村ノ便
益ヲ考慮シ電力料金ノ低下ヲ圖ラレタキコト（更生部）

三、發電所所在府縣所在農山漁村ノ財政並關係農山漁家ニ於テ從來電力會
社ヨリ徵收シタル收入ニ付テハ將來モ考慮セラレタキコト（更生部）（前
出）

四、電力ノ消費管制ヲ實施セラルル場合ニ於テモ農山漁村ニ於ケル電力ノ
供給ニ遺憾ナキ様特ニ考慮セラレタキコト（更生部）

五、水力資源ノ開發利用ヲ全カラシメ、他種利水、治水其ノ他ノ權益トノ
關係ヲ合理的ニ調整スルコト（電力國策要綱六(4)参照）ニ關シテハ漁業
上ノ既存ノ權益ヲ充分尊重スルト共ニ魚族保護施設ニ付テモ從來通充分
考慮セラレ度（水產局）

別紙二

昭和十三年一月十七日

農 林 次 官

遞 信 次 官 宛

電力管理法、大日本振興電力株式會社法等ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ昭和十三年一月十日附照會越有之候處大日本振興電力株式會社（假稱）法ノ運用ニ關シテハ左記ノ通確定致置度候條御異存無之哉此段及照會候也

記

一、第十六條ノ規定ニ依リ會社ノ承繼スベキ河川、湖若ハ沼ノ使用竝ニ關スル權利義務竝ニ道路其ノ他土地ノ占用又ハ使用ニ關スル權利義務ハ獨リ

許可ノ條件ニ依ル權利義務ノミナラズ河川、湖若ハ沼ノ使用竝ニ道路其ノ他土地ノ占用若ハ使用ニ直接關聯ヲ有スル契約上ノ權利義務ヲモ包含スルコト

二、第二十三條第二項ノ規定ニ依リ許可若ハ認可ノ取消ヲ爲シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既設工作物ノ變更若ハ除却ヲ命ズル場合ニ於テハ豫メ農林大臣ニ協議スルコト

法制局ニ於テ修正

日本發送電

大日本振興電力株式會社（假稱）法案中關係條文

日本發送電

第十六條 第四條ノ規定ニ基キ大日本振興電力株式會社ニ出資セラレタル電力設備及其ノ附屬設備ニ付當該設備ノ所有者ガ有シタル河川、湖若ハ沼ノ使用ニ關スル權利義務竝ニ道路其ノ他土地ノ占有又ハ使用ニ關スル權利義務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ大日本振興電力株式會社之ヲ承繼ス

第二十三條

日本發送電

電力管理法第三條ノ建設又ハ變更ノ計畫ニ從ヒ

大日本振興電力株式會社ハ主務大臣ノ命ズル所ニ依リ電力設

備及其ノ附屬設備ノ建設又ハ變更ヲ爲ス

コトヲ要ス

前項ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ發電ノ爲ニスル河川、湖若ハ沼ノ使用ニ關スル許可又ハ電力設備ノ施設ニ關スル許可若ハ認可ニ付テハ當該許可又ハ認可ヲ爲シタル行政官廳ニ於テ之ガ取消ヲ爲シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ當該既設工作物ノ變更若ハ除却ヲ命ズルモノトス

参考

第七十議會提出豫定ノ電力法案ニ關スル交換公文

年月日

農林次官

遞信次官宛

貴省御起草ニ係ル電力管理法案等ノ閣議稟請ニ關シ合議ニ接シタル處日本
電力設備株式會社法ノ運用ニ關シテハ左記ノ通確定致置度候條御異存無之
哉此段及照會候也

記

一、第十四條第二項ノ規定ニ依リ河川、湖又ハ沼ノ水ノ使用ノ許可ガ効力
ヲ失フ場合、政府ガ河川、湖又ハ沼ノ水ノ使用ニ付承認ヲ受ケントスル
トキハ豫メ農林大臣ニ協議スルコト第三十九條ノ規定ニ依リ電力設備及

其ノ附屬設備ノ建設又ハ變更ヲ命ゼントスルトキ亦同ジ

二、第二十條ノ規定ニ依リ會社ノ承繼スベキ河川、湖若ハ沼ノ敷地ニ於ケ
ル工作物ノ新築、改築若ハ除却又ハ其ノ敷地ノ占用ニ關スル權利義務ハ
獨リ許可ノ條件ニ依ル權利義務ノミナラズ工作物ノ設置等ニ直接關聯ヲ
有スル契約上ノ權利義務ヲモ包含スルコト

注意 議會解散ニ因リ法案流産シタル結果遞信次官ノ回答無シ

三 日本電力設備株式會社法案中參照條文

第十四條 出資ノ目的タル設備ノ所有權ハ日本電力設備株式會社ノ成立又ハ増資ノ日ニ於テ日本電力設備株式會社ニ移轉ス
出資セラレタルモノト看做ス

出資ノ目的タル
前項ノ場合ニ於テハ當該電力設備及其ノ附屬設備ニ關スル河川、湖及沼ノ水ノ使用ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第一項ノ場合ニ於ケル登記ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 第四條ノ規定ニ基キ日本電力設備株式會社ニ出資セラレタル電力設備及其ノ附屬設備（工事中ノモノヲ含ム）ニ付當該設備ノ所有者ガ

有シタル、河川、湖及沼ノ敷地ニ於ケル工作物ノ新築、改築若ハ除却又ハ其ノ敷地ノ占有ニ關スル權利義務竝ニ道路其ノ他土地ノ占有又ハ使用ニ關スル權利義務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本電力設備株式會社之ヲ承繼ス

第三十九條^七 主務大臣ハ日本電力設備株式會社ニ對シ電力設備及其ノ附屬設備ノ建設又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ヲ爲ス場合ニ於テ發電ノ爲ニスル河川、湖及沼ノ使用ニ關スル許可又ハ電力設備ノ施設ニ關スル許可若ハ認可ヲ受ケ未ダ工事ニ着手セザルモノアルトキハ當該許可又ハ認可ヲ爲シタル行政官廳ニ於テ之ガ取消ヲ爲スモノトス

日本電力設備株式會社ハ前項ノ取消ヲ受ケタル者ニ對シ調査又ハ測量其

ノ他工事準備ノ爲支出シタル通常ノ費用ヲ補償スベシ

(以下法制局ニテ追加)

第十五條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ補償金額ニ付之ヲ準用ス